

様式第23号（第5条関係）

令和 4 年 3 月 31 日

笠岡市長 殿

所在地	笠岡市六島7572
協議会名	六島まちづくり協議会
協議会長名	会長 三宅 千歳

令和 3 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金A）
変更申請書（兼）実績報告書

令和 3 年 6 月 1 日付け笠岡市指令協第 51 号で交付決定を受けた交付金について、次のとおり交付額の変更を申請します。併せて、次のとおり活動が完了したので、笠岡市魅力あるまちづくり交付金交付要綱第5条の規定により関係書類を添えて報告します。

記

- 1 変更交付申請額 593,476 円
(交付金決算額)

〔内訳〕

(単位：円)

交付決定額 ①	変更交付申請額（交付金決算額）		返還額 ④
	当該年度支出額 ②	次年度繰越額 ③	
602,174	593,476	0	8,698

- 2 交付金が減額変更になった理由

経費削減に努めたため

【添付書類】

- (1) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金A）活動実績明細書（様式第24号）
- (2) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金A）収支決算書
(様式第25号又は様式第25号の1)
- (3) 領収書の写し（活動ごとに取りまとめたもの）
- (4) 事業の実施状況がわかる写真及び成果品
- (5) その他参考となる書類

様式第24号（第5条関係）

令和 3 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金A）活動実績明細書

協議会名 六島まちづくり協議会

活動No	1
活動名	六島オンライン未来塾
前年からの繰越金	<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】地域づくりに従事するインターンOBOGから学ぶ「六島オンライン未来塾」を開催することで、停滞する六島まちづくり協議会の定例会の議論や事業を活性化させる

【効果】・他地域の取組・知見も踏まえての地域計画づくり
・六島まちづくり協議会の議論や事業の活性化
・新たな事業アイデアの創出

2 実施期間

令和 3 年 6 月 1 日 ～ 令和 4 年 3 月 31 日
(計画期間 1 年中 1 年目)

3 実施場所

六島公民館、島小屋

4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 21 人 (ア+イ)

(内訳) 企画運営に関わった人数： 8 人 (ア)

その他関係人数(当日参加者等)： 13 人 (イ)

○団 体： (団体名) 自治会 , (団体名) 公民館
(団体名) 小学校 , (団体名)

5 実施内容

まちづくり協議会の事業全体を総括してもらう為に、アドバイザーを招聘した。毎月の定例会だけでなく、間に協議会の運営を活性化させる目的で「六島オンライン未来塾」(計5回)を開催した。そこでは、他地域の取組・知見を学び、協議会での具体的な事業展開やメンバーの役割分担を明確にし、毎月の定例会で合意形成を行った。

6 決算額

264,220 円 (うち交付金分 252,400 円)

7 活動実施による成果及び課題

【成果】毎月の定例会前にアドバイザーと協議会主要メンバーで事前打合せなどをした事でスムーズな話し合いを行うことができた。他地域の取り組みなどを参考にしながら、まちづくり計画の作成も行なった。

【課題】協議会メンバーだけでは議論やアイデア出しは停滞してしまうが、まちづくり計画で見えた地域住民の要望や困りごとなどの課題解決にむけた活動を行っていく必要がある。

様式第25号（第5条関係）

令和 3 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金A）収支決算書

協議会名 六島まちづくり協議会

活動No	1
活動名	六島オンライン未来塾

【収入の部】 (単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
市交付金	252,400	① 252,400	0	当該年度分
その他収入	0	11,820	11,820	
		11,820	11,820	自主財源より
			0	
			0	
計	252,400	264,220	11,820	

【支出の部】 (単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
報償費	90,000	100,000	△ 10,000	別紙「出納簿」のとおり
旅費	36,900	38,720	△ 1,820	〃
需用費		0	0	〃
役務費		0	0	〃
使用料及び賃借料		0	0	〃
備品購入費		0	0	〃
運営委託費	125,500	125,500	0	〃
	0	0	0	〃
			0	
			0	
計	252,400	264,220	△ 11,820	決算額のうち市交付金分 ② <u>252,400</u>

市交付金の余剰金 ①－② 0 円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③ 0 円 返還額 ④ 0 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

出 納 簿

交付金区分

活動交付金 A

活動名

六島オンライン未来塾

費目

報償費

No.

1

予 算 額		
年:月:日	流用額	予算現額
		90,000

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計	予算残
1	4	3	1	アドバイザー	アドバイザー費用10,000円/月×10ヶ月 (6~3月)	100,000	100,000	-10,000
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
No. 1 小 計						100,000		

出 納 簿

交付金区分

活動交付金 A

活動名

六島オンライン未来塾

費目

旅費

No.

1

予 算 額		
年:月:日	流用額	予算現額
		36,900

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計	予算残
1	4	3	1	アドバイザー	アドバイザー旅費	38,720	38,720	-1,820
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
No. 1 小 計						38,720		

出 納 簿

交付金区分

活動交付金 A

活動名

六島オンライン未来塾

費目

運営委託費

No.

1

予 算 額		
年:月:日	流用額	予算現額
		125,500

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計	予算残
1	4	3	1	エリア・イノベーション	六島オンライン未来塾運営委託費	125,500	125,500	0
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
No. 1 小 計						125,500		

事業評価シート

(令和 3 年度)

No. 1

協議会名	六島まちづくり協議会
活動(事業)名	六島オンライン未来塾

審査基準	視点	評価点 (数が大きいほど 良い評価)
事業目的は達成できたか	事業の直接的な目的を達成したか	4
事業実績は 事業計画どおりできたか	事業計画は無理がなかったか, 事業規模は適正だったか	5
持続可能な 地域づくりにつながったか	一過性ではなく, 将来の地域運営に資する事業であったか	4
多くの住民, 住民団体と 協力して行ったか	特に若者や女性の参加を積極的に促したか	5
事業成果を地域に 広く共有し, 評価できたか	事業実施や実施後に広報し, 評価をより多くの住民によってなされたか	4

より効果的な事業実施のために,
次年度以降どのような取組み(改善)を行うか具体的に記入してください。

協議会メンバーだけでは議論やアイデア出しが停滞ぎみなので、来年度以降も外部からの協力を得る必要が感じられる。担当職員や島外の協力者の助けを得ながら、まちづくり計画で見えてきた課題解決に対する取組みを行っていく

様式第24号（第5条関係）

令和 3 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金A）活動実績明細書

協議会名 六島まちづくり協議会

活動No	2
活動名	六島YouTuber化計画セカンドステージ
前年からの繰越金	○あり ●なし

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】昨年から実施しているYouTuber化計画を継続して実施する。特に今回は大人の事業への積極的な取り組みを進めるために、基本操作の講習や、大学生とのzoom会議への参加を積極的にすすめる。

【効果】取り組みをすすめることにより、島民自らの情報発信のスキルアップが期待される。

2 実施期間

令和 3 年 6 月 1 日 ～ 令和 4 年 3 月 31 日

(計画期間 1 年中 1 年目)

3 実施場所

公民館、島小屋

4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 36 人（ア＋イ）

(内訳) 企画運営に関わった人数： 6 人（ア）

その他関係人数（当日参加者等）： 30 人（イ）

○団 体： (団体名) 公民館 , (団体名) 自治会

(団体名) 小学校 , (団体名)

5 実施内容

小中学生のYouTuber活動は継続して行い、跡見学園女子大学との定期的なzoom会議やオンライン交流を行なった。ITスキルアップ講座、動画撮影や技術指導などをしていただいた。観光スポットの動画撮影、編集を依頼しQRコードによる島民の観光案内が流れるコンテンツの作成をした。

6 決算額

245,760 円（うち交付金分 245,760 円）

7 活動実施による成果及び課題

【成果】跡見学園女子大学とのオンライン交流のなかでの学生さんから見やすい動画にするためのアドバイスなどを参考に、指導のもと子どもたちが取り組んだ。コロナ禍で対人の観光案内が難しい中、観光で来られた方に島内観光スポットでQRコードを読み込んでもらうことで、島民による観光案内ができた。

【課題】公民館事業でスマホ教室を開催したり、ITスキルアップ講習を開催したが、70歳を超えてからの技術習得は容易ではなく、今後の活動継続の担い手が少ない。

様式第25号（第5条関係）

令和 3 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金A）収支決算書

協議会名 六島まちづくり協議会

活動No	2
活動名	六島YouTuber化計画セカンドステージ

【収入の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
市交付金	254,458	① 254,458	0	当該年度分
その他収入	0	0	0	
			0	
			0	
			0	
計	254,458	254,458	0	

【支出の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
報償費	130,000	130,000	0	別紙「出納簿」のとおり
旅費	42,640	33,760	8,880	〃
需用費	50,000	50,000	0	〃
役務費		0	0	〃
使用料及び賃借料		0	0	〃
備品購入費	31,818	32,000	△ 182	〃
0		0	0	〃
0		0	0	〃
			0	
			0	
計	254,458	245,760	8,698	決算額のうち市交付金分 ② 245,760

市交付金の余剰金 ①－② 8,698 円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③ 0 円 返還額 ④ 8,698 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

出 納 簿

交付金区分

活動交付金 A

活動名

六島YouTuber化計画セカンドステージ

費目

報償費

No.

1

予 算 額			
年	月	日	流用額
			130,000

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計	予算残
1	4	3	28	エフ・プランニング	ITスキルアップ教室講師謝礼	30,000	30,000	100,000
2	4	3	28	制作者	映像作成費	100,000	130,000	0
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
No.1 小 計						130,000		

出 納 簿

交付金区分

活動交付金 A

活動名

六島YouTuber化計画セカンドステージ

費目

旅費

No.

1

予 算 額			
年	月	日	流用額
			42,640

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計	予算残
1	3	7	18	三洋汽船	撮影	2,560	2,560	40,080
2	3	7	18	三洋汽船	IT教室	2,560	5,120	37,520
3	3	8	14	三洋汽船	YouTubeライブ配信 撮影	2,560	7,680	34,960
4	3	8	14	三洋汽船	YouTubeライブ配信 IT教室	2,560	10,240	32,400
5	3	10	17	三洋汽船	撮影	2,560	12,800	29,840
6	3	10	17	三洋汽船	IT教室 (領収書なし)	0	12,800	29,840
7	3	12	19	三洋汽船	撮影	2,560	15,360	27,280
8	4	3	31	映像制作者	自宅~住吉港まで移動ガソリン代として	18,400	33,760	8,880
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
No.1 小 計						33,760		

出 納 簿

交付金区分 活動交付金 A

活動名 六島YouTuber化計画セカンドステージ

費目 需用費

No. 1

↑ドロップダウンリストから選んでください。

予 算 額		
年	月	日

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計	予算残
1	4	3	31	エフ・プランニング	案内看板作成費として	50,000	50,000	0
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
No. 1 小 計						50,000		

出 納 簿

交付金区分

活動交付金A

活動名

六島YouTuber化計画セカンドステージ

費目

備品購入費

No.

1

予 算 額			
年	月	日	流用額
			31,818

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計	予算残
1	3	6	15	エディオン笠岡店	ビデオカメラ	32,000	32,000	-182
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
No.1 小 計						32,000		

事業評価シート

(令和 3 年度)

No. 1

協議会名	六島まちづくり協議会
活動(事業)名	六島YouTuber化計画セカンドステージ

審査基準	視点	評価点 (数が大きいほど 良い評価)
事業目的は達成できたか	事業の直接的な目的を達成したか	3
事業実績は 事業計画どおりできたか	事業計画は無理がなかったか, 事業規模は適正だったか	3
持続可能な 地域づくりにつながったか	一過性ではなく, 将来の地域運営に資する事業であったか	4
多くの住民, 住民団体と 協力して行ったか	特に若者や女性の参加を積極的に促したか	4
事業成果を地域に 広く共有し, 評価できたか	事業実施や実施後に広報し, 評価をより多くの住民によってなされたか	3

より効果的な事業実施のために、
次年度以降どのような取組み(改善)を行うか具体的に記入してください。

動画配信に関しては、島民だけで続けていくのは難しく、外部からの協力者が必要と感じられる。島に定住して普段の島の様子や観光資源、人を撮影し、定期的に配信してくれる人材を募集する。来年度は六島灯台100周年記念事業も計画しているので、準備段階からの様子も動画配信を行い、島へ訪れてもらえるきっかけづくりにしたい。

様式第24号（第5条関係）

令和 3 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金A）活動実績明細書

協議会名 六島まちづくり協議会

活動No	3
活動名	六島Sターン事業（週末島暮らし体験事業）
前年からの繰越金	○あり ●なし

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】六島の新しい仕事づくりの取り組みとして「農業」に注目し、移住と連動させることにより、島の農業サポートと移住促進につなげる。

【効果】島のレモン特産化への取り組みの協力的体制づくり。えんどうについては、生産者の高齢化が進む中で、作業のサポートにより、一年でも長く農業に従事してもらうことで、高齢者の元気づくりにも寄与する。この取り組みが、島への移住の足掛かりになることを期待する。

2 実施期間

令和 3 年 6 月 1 日 ～ 令和 4 年 31 月 日

(計画期間 1 年中 1 年目)

3 実施場所

島内

4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 10 人（ア＋イ）

(内訳) 企画運営に関わった人数： 5 人（ア）

その他関係人数（当日参加者等）： 5 人（イ）

○団 体： (団体名) _____, (団体名) _____
(団体名) _____, (団体名) _____

5 実施内容

9/26 島外参加者3名と耕運機を使って畑を耕す作業と周辺の草刈り機を実施

10/31 島外参加者4名と種まき、周辺の草刈りを実施

3/27 飛島にてエンドウの収穫体験、PR資料のための撮影を行なった。

レモン栽培については、10本は新しく植栽。10本は鉢植えにして、今後の管理を島民の自宅の庭などで行なってもらおう。

6 決算額

106,220 円（うち交付金分 95,316 円）

7 活動実施による成果及び課題

【成果】コロナ禍で島外からの参加者を募集しにくい状況もあったが、PR資料を作ったことにより、来年度以降の活動に役立てる事ができる。協議会メンバーの中にも事業に参加し、高齢になり畑を続けるのが困難になった親の畑を譲り受け、指導者にアドバイスをもらいながらエンドウの栽培などを始めた人もいた。

【課題】数回だけの実施では除草や追肥、収穫などの作業が十分にできず、指導者の負担になってしまった部分もあった。高齢の農業従事者のサポートができるような協力的体制の仕組みづくりを練り直す必要がある。

様式第25号（第5条関係）

令和 3 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金A）収支決算書

協議会名 六島まちづくり協議会

活動No	3
活動名	六島Sターン事業（週末島暮らし体験事業）

【収入の部】

（単位：円）

費目	予算額	決算額	差引	摘要
市交付金	95,316	① 95,316	0	当該年度分
その他収入	0	10,904	10,904	
		10,904	10,904	自主財源
			0	
			0	
計	95,316	106,220	10,904	

【支出の部】

（単位：円）

費目	予算額	決算額	差引	摘要
報償費	10,000	10,000	0	別紙「出納簿」のとおり
旅費	12,800	34,730	△ 21,930	〃
需用費	67,956	58,930	9,026	〃
役務費	4,560	2,560	2,000	〃
使用料及び賃借料		0	0	〃
備品購入費		0	0	〃
0		0	0	〃
0		0	0	〃
			0	
			0	
計	95,316	106,220	△ 10,904	決算額のうち市交付金分 ② 95,316

市交付金の余剰金 ①－② 0 円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③ 0 円 返還額 ④ 0 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

出 納 簿

交付金区分

活動交付金 A

活動名

六島Sターン事業（週末島暮らし体験事業）

費目

報償費

No.

1

予 算 額			
年	月	日	流用額
			10,000

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計	予算残
1	4	3	31	指導者	農業指導謝礼	10,000	10,000	0
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
No.1 小 計						10,000		

出 納 簿

交付金区分

活動交付金 A

活動名

六島Sターン事業（週末島暮らし体験事業）

費目

旅費

No.

1

予 算 額			
年	月	日	流用額
			12,800

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計	予算残
1	3	9	24	三洋汽船	事前事業説明来島船賃	2,560	2,560	10,240
2	3	9	26	三洋汽船	農業体験参加者船賃	7,680	10,240	2,560
3	3	9	26	三洋汽船	持参耕運機船賃	3,600	13,840	-1,040
4	3	10	31	三洋汽船	持参草刈り機船賃	1,400	15,240	-2,440
5	4	3	27	三洋汽船	事業PR資料の写真撮影と農業指導のため飛島へ	3,490	18,730	-5,930
6	4	3	29	海上タクシー 幸進丸	3/27帰路チャーター	16,000	34,730	-21,930
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
No.1 小 計						34,730		

出 納 簿

交付金区分

活動交付金 A

活動名

六島Sターン事業（週末島暮らし体験事業）

費目

需用費

No.

1

↑ドロップダウンリストから選んでください。

予 算 額			
年	月	日	流用額
			67,956

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計	予算残
1	4	3	31	晴れの国岡山農業協同組合	レモン苗木@1,485円×20本=2,970円 運賃1,000円	30,700	30,700	37,256
2	4	3	31	ホリデイ笠岡店	花と野菜の土@180円×2袋、パーク堆肥@364円×4袋	1,997	32,697	35,259
3	4	3	31	ホリデイ笠岡店	赤玉土@380円、有機石灰@398円	855	33,552	34,404
4	4	3	31	ユーホー笠岡店	元肥	1,188	34,740	33,216
5	4	3	31	楽天グループ	スリット鉢10個セット	4,190	38,930	29,026
6	4	3	31	エフ・プランニング	事業PR資料作成	20,000	58,930	9,026
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
No.1 小 計						58,930		

出 納 簿

交付金区分

活動交付金 A

活動名

六島Sターン事業（週末島暮らし体験事業）

費目

役務費

No.

1

↑ドロップダウンリストから選んでください。

予 算 額

年	月	日	流用額	予算現額
				4,560

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計	予算残
1	4	3	30	三洋汽船	花と野菜の土他運搬船賃	2,560	2,560	2,000
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
No. 1 小 計						2,560		

事業評価シート

(令和 3 年度)

No. 1

協議会名	六島まちづくり協議会
活動(事業)名	六島Sターン事業(週末島暮らし体験事業)

審査基準	視点	評価点 (数が大きいほど 良い評価)
事業目的は達成できたか	事業の直接的な目的を達成したか	3
事業実績は 事業計画どおりできたか	事業計画は無理がなかったか, 事業規模は適正だったか	2
持続可能な 地域づくりにつながったか	一過性ではなく, 将来の地域運営に資する事業であったか	4
多くの住民、住民団体と 協力して行ったか	特に若者や女性の参加を積極的に促したか	4
事業成果を地域に 広く共有し、評価できたか	事業実施や実施後に広報し、 評価をより多くの住民によってなされたか	3

より効果的な事業実施のために、
次年度以降どのような取組み(改善)を行うか具体的に記入してください。

今年度、六島でのエンドウの収穫時期が例年よりも遅く、年度内に島内で収穫作業を行うことができなかった。4月末～5月始めまでの収穫時期に種まきをした参加者に声掛けをし、収穫体験もしてもらおう。畑周辺の草刈りなども行い、地域の高齢者の困りごとを解決できるような活動にする。レモン栽培においては、鉢植えでそれぞれに管理してもらおうことで地域住民の活動への参加を促し、特産化への取り組みの協力体制づくりになるようにする。